



Solar System

画像提供：NASA

隙間だらけの太陽系

太陽を1円玉(直径2cm)の大きさにすると、太陽と地球間の距離は約2mになり、太陽から最も遠い惑星である海王星までの距離は約60mになります。仮に海王星までを太陽系とするとその直径は約120mになりますが、その空間の中で物質が存在しているのはたかだか1円玉の大きさくらいでしかないということです。

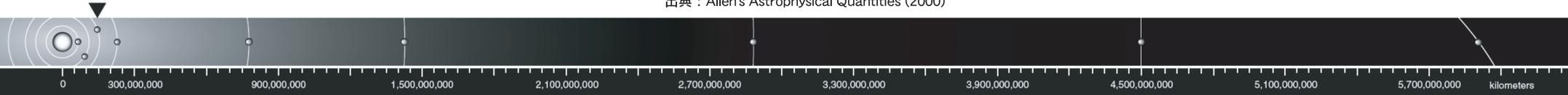
太陽系最大の惑星である木星の大きさは太陽の約1/10なので、太陽が1円玉の大きさのときの木星の直径は約2mm。地球はさらにその1/10の約0.2mmです。よくあるシャーペンの芯の太さは0.5mmですから、地球はそれよりも小さいということです。

題字(Solar System)に使った色の名はサンライト。日の光を表すオレンジよりの黄。
 CMYK : 0,15,42,0 RGB : 249,214,155
 出典 http://www.color-lab.jp/color_dic/yellow.html

	軌道半径 (天文単位)	軌道離心率	公転周期 (年)	赤道半径 (km)	質量 (地球=1)	自転周期 (地球日)	赤道傾斜角 (度)
太陽				696,000	328,900	25.38	
水星	0.3871	0.2056	0.240	2,440	0.055	58.65	0.0
金星	0.7233	0.0068	0.615	6,052	0.815	243.02	177.3
地球	1.0000	0.0167	1.000	6,378	1.000	0.9973	23.45
火星	1.5237	0.0934	1.881	3,397	0.107	1.0260	25.19
木星	5.2034	0.0484	11.857	71,492	317.82	0.414	3.12
土星	9.5371	0.0542	29.424	60,268	95.161	0.444	26.73
天王星	19.1913	0.0472	83.747	25,559	14.371	0.718	97.86
海王星	30.0690	0.0086	163.723	24,764	17.147	0.671	29.58

出典：Allen's Astrophysical Quantities (2000)

We are here



太陽系家族写真

ボイジャー1号が太陽系の外側から撮影した写真をつないで作成した太陽系家族写真。ボイジャー1号は地球から最も遠くにある人工物で、2016年6月16日現在の太陽からの距離は135AU。ボイジャー探査機の現在位置は <http://voyager.jpl.nasa.gov/where/> で確認できます。

